

大晦日は

23時50分頃から百八の除夜の鐘



画 佐藤和喜

墓地は、線香生花をお世話するものは常駐していません。
正月に墓参される方は、線香花などご持参ください。

もくぎよ 木魚

お経をよむときにポクポクとやるのが、木魚。木
に魚と書くから、魚の模様でも刻まれているかと
いうと、違うんだなあー。毎日ポクポクとやりな
がら、改めて知った恥ずかしい話です。(住職記)

寺には木魚(もくぎよ)があります。お経を
よむときに、ポクポクとやります。なぜ、ポク
ポクやるかというと、一人ならまだしも、大勢
でよむときに、声を合わせる打楽器が必要なわ
けです。でも、ひとりでよむときも使いますか
ら、声をあわせるだけの道具ではなさそうです。

毎日、ポクポトとやりながら、浅学な筆者は、
木魚の起源を知らない。起源は知らないけれど、
怠け者には便利な世の中になって、仏教經典の
大全集『大正新脩大藏經』八十五巻に電子の息
吹が与えられ、インターネット上で公開されて

います。アナログ經典がデジタル化されて、検索
がめちゃくちゃ簡単になりました。

たとえば、「木魚」を検索すると、何万もの漢
字の中から、十四の經典に二十一の記述がある、
と瞬時に探し出してくれます。

検索結果をながめると、インド生まれの經典に
は木魚の記述はなく、八世紀以降の中国の禪宗関
係の語録に記されている言葉らしい。木魚は中国
生まれで、禪宗で育った楽器のようです。

中国といえば、代表的な魚は鯉(こい)。ゆる
やかな流れでは悠々と泳ぎながらも、流れが急に